

(西暦)

2013年 10月 23日

婦人科腫瘍の治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの 診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者	所属	産婦人科	職名	講師
	氏名	阪埜 浩司		
	連絡先電話番号	03-5363-3819		
実務責任者	所属	産婦人科	職名	
	氏名	阪埜 浩司		
	連絡先電話番号	03-5363-3819		

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、**阪埜浩司** までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 2003 年 1 月 1 日より 2016 年 3 月 31 日までの間に、婦人科にて婦人科腫瘍の治療のため入院し、手術を受けた方

2 研究課題名

婦人科腫瘍における臨床病理学的因子とがん抑制遺伝子・がん遺伝子及びその関連分子群の発現に関する解析

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室・慶應義塾大学病院産婦人科

4 本研究の意義、目的、方法

本研究の目的は、婦人科領域における子宮体がん、卵巣がん、及び婦人科良性腫瘍に、DNAミスマッチ修復(MMR)遺伝子をはじめとするがんの発生と関係があると思われる腫瘍関連遺伝子がどのように関与しているのかを調べることです。未だ明らかとなっていない婦人科腫瘍の発癌機序を解明することを目指しています。本研究では手術検体を用いて病変部やその周囲の組織の遺伝子を解析するものであり、生まれつき(生殖細胞系列)の遺伝情報を解析するものではありません。

5 協力をお願いする内容

対象となる患者の方の、診療記録（カルテ）、治療経過を分析します。また、手術標本を用いて、腫瘍関連蛋白の発現を免疫組織化学染色にて確認し、一部の標本から得られた試料を用いてミスマッチ修復遺伝子のメチル化や腫瘍部のマイクロサテライト不安定性について解析します。研究対象として最大100名程度の患者の皆様の診療録、および手術検体の情報および手術標本を利用させていただきます。

6 本研究の実施期間

西暦 2003年1月1日～2016年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

研究責任者

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室 阪埜浩司

連絡先： 03-5363-3819

以上